

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587038901	科目番号	05870389
授業科目名	●現代の教養II(ことばの世界)		
編集担当教員	山本 建雄		
授業担当教員名(科目責任者)	山本 建雄		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	山本 建雄		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-42		
対象学生(クラス等)			
担当教員Eメールアドレス	yamamoto@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部623		
担当教員TEL	819-2300		
担当教員オフィスアワー	月曜日		
授業の概要及び位置づけ	日本文化についての理解を、日本語の理解と表現の学習を通して、より広く、より深くするのが、本授業のねらいである。		
授業到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ○日本語の基礎的なことについて、幅広く確かな理解ができる。 ○日本語の音声表現について、資料に即し、確かな理解ができる。 ○日本語の文字表現について、資料に即し、確かな理解ができる。 		
授業方法(学習指導法)	講義形式を中心に、演習形式のものも交える。		
授業内容	回	内容	
	1	日本語の表記	
	2	日本語の文法	
	3	日本語の語彙	
	4	日本語の論理	
	5	日本語の敬語法	
	6	方言と共通語	
	7	対話と討論	
	8	話芸	
	9	歌謡曲	
	10	手紙	
	11	俳句、短歌	
	12	物語、小説	

	13	評論
	14	報道文
	15	総括
	16	試験
キーワード	日本語、理解、表現、言語資料	
教科書・教材・参考書	毎回の資料は、そのつど担当者が用意する。	
成績評価の方法・基準等	5回程度、各回の授業内容の応用的理解に関わる小テストを実施する。これに加え、最終の16回目に、これまでの授業を通して学びえたことを総合して取り組むべき課題を用意し、最終試験とする。	
受講要件（履修条件）	日本語の理解と表現に興味と関心をもっていること。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	毎回の授業内容に関係した発展的な読書を希望する。お勧めの図書については、そのつど紹介をする。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587039301	科目番号	05870393
授業科目名	●現代の教養II(人間と社会)		
編集担当教員	永田 聖二		
授業担当教員名(科目責任者)	永田 聖二		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	永田 聖二		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生（クラス等）	医歯工環		
担当教員Eメールアドレス	seiji@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 本館6F 612号室		
担当教員TEL	819-2310		
担当教員オフィスアワー	月曜V限		
授業の概要及び位置づけ	古典派経済学からケインズ経済学まで、さまざまな経済学説の変遷をたどることによって、資本主義経済の機構を理論的に解明する。		
授業到達目標	古典派経済学、マルクス経済学、近代経済学など、さまざまな経済学説の資本主義経済観を把握したうえで、資本主義経済の機構を理論的に説明できる。		
授業方法（学習指導法）			
授業内容	回	内容	
	1	経済学の課題と対象	
	2	流通過程と重商主義思想1	
	3	流通過程と重商主義思想2	
	4	アダム・スミスと国富	
	5	アダム・スミスと生産過程	
	6	リカードウと労働価値説	
	7	リカードウと分配の経済学	
	8	リカードウと賃金論	
	9	リカードウと地代論	
	10	マルクスと価値形態論	
	11	レオンティエフと産業連関分析1	
	12	レオンティエフと産業連関分析2	
	13	スラッフアと価格方程式1	

	14	スラッフアと価格方程式2
	15	ケインズと有効需要の原理
	16	期末試験
キーワード	スミス、リカードウ、マルクス、スラッフア、ケインズ	
教科書・教材・参考書		
成績評価の方法・基準等	期末試験100%	
受講要件（履修条件）		
備考（URL）		
学生へのメッセージ	ベクトルや行列など、線形代数の初歩的知識があれば、理解の助けになる。	



Copyright (c) 2004-2009 NTT DATA KYUSHU CORPORATION. All Rights Reserved.

タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火4																				
開講期間																							
必修選択	選択	単位数	2.0																				
時間割コード	20140587039701	科目番号	05870397																				
授業科目名	●現代の教養II(暮らしと科学)																						
編集担当教員	藤本 登																						
授業担当教員名(科目責任者)	藤本 登																						
授業担当教員名(オムニバス科目等)	藤本 登																						
科目分類	全学モジュールII科目																						
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目																				
教室	[教養A棟]A-41																						
対象学生(クラス等)	医学部・歯学部・工学部・環境科学部																						
担当教員Eメールアドレス	n-fuji@nagasaki-u.ac.jp																						
担当教員研究室	教育学部技術美術教棟115室																						
担当教員TEL	095-819-2360																						
担当教員オフィスアワー	8:00~8:45及び昼休み																						
授業の概要及び位置づけ	私たちの生活に潜む問題点を科学的な視点から捉え、自分なりの解決策を考えます。																						
授業到達目標	自ら生活に潜む問題点を発見し、それを解決するための考え方とスキルを身につける。																						
授業方法(学習指導法)	本講義は一般的な講義と参加型・体験型学習を織り交ぜながら実施します。基本的には毎回到提示或いは各班で決めたテーマをもとに背景、事象、問題点を抽出しながら、課題解決を試みます。ただし、必要なスキルについては講義と演習により教授します。なお、毎回、その週に見つけた暮らしの中の問題を議論する場 面を導入時に設けるので、関連する資料(新聞や雑誌、写真等)を持参して下さい。																						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>オリエンテーション(概要、ねらい、ルール) アイスブレイキング 講義:主体的に学ぶには</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>テーマ:情報認識・伝達</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>テーマ:エコロジカル・フットプリントから生活・社会を考える (電卓を持参し、各自の電力・水・ガス消費量を調べてくること)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>テーマ:私の生活に潜む問題は?(問題点の抽出) (この内容によって以下のテーマが変わる場合があります)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>テーマ:私の生活に潜む問題は?(課題設定と班編制)</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>テーマ:食問題を考える</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>テーマ:ごみ問題を考える</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>テーマ:水問題を考える</td> </tr> <tr> <td>9</td> <td>テーマ:交通手段を考える</td> </tr> </tbody> </table>			回	内容	1	オリエンテーション(概要、ねらい、ルール) アイスブレイキング 講義:主体的に学ぶには	2	テーマ:情報認識・伝達	3	テーマ:エコロジカル・フットプリントから生活・社会を考える (電卓を持参し、各自の電力・水・ガス消費量を調べてくること)	4	テーマ:私の生活に潜む問題は?(問題点の抽出) (この内容によって以下のテーマが変わる場合があります)	5	テーマ:私の生活に潜む問題は?(課題設定と班編制)	6	テーマ:食問題を考える	7	テーマ:ごみ問題を考える	8	テーマ:水問題を考える	9	テーマ:交通手段を考える
回	内容																						
1	オリエンテーション(概要、ねらい、ルール) アイスブレイキング 講義:主体的に学ぶには																						
2	テーマ:情報認識・伝達																						
3	テーマ:エコロジカル・フットプリントから生活・社会を考える (電卓を持参し、各自の電力・水・ガス消費量を調べてくること)																						
4	テーマ:私の生活に潜む問題は?(問題点の抽出) (この内容によって以下のテーマが変わる場合があります)																						
5	テーマ:私の生活に潜む問題は?(課題設定と班編制)																						
6	テーマ:食問題を考える																						
7	テーマ:ごみ問題を考える																						
8	テーマ:水問題を考える																						
9	テーマ:交通手段を考える																						

	10	中間討議：講義4で設定した課題についての発表（各10分程度）
	11	中間討議：講義4で設定した課題についての発表（各10分程度）
	12	テーマ：エネルギー問題を考える
	13	テーマ：原子力発電を考える
	14	テーマ：放射線から考える
	15	最終討議：講義4で設定した課題についての発表（各5分程度）
	16	
キーワード	衣食住に関わる日常生活、環境、健康、人間関係、教育	
教科書・教材・参考書	資料は適宜配布するか、LACSに掲載します。 エコロジカル・フットプリント・レポート日本2012・世界自然保護基金ジャパン エネルギー経済統計要覧・省エネルギーセンターなど	
成績評価の方法・基準等	講義時に提示課題の評価（50%） 最終レポート（30%） 講義中のディスカッション等の貢献度（20%）	
受講要件（履修条件）	生活や社会を改善したいと考えている学生	
備考（URL）		
学生へのメッセージ		



タイトル「**2014年度シラバス (教養教育科目)**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
 シラバスの詳細は以下となります。



学期	後期	曜日・校時	火3
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587040101	科目番号	05870401
授業科目名	●現代の教養II(数と自然)		
編集担当教員	島袋 修		
授業担当教員名(科目責任者)	島袋 修		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	島袋 修		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-41		
対象学生 (クラス等)	H23年度以前入学者		
担当教員Eメールアドレス	shimabukuro@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部棟310号室		
担当教員TEL	2318		
担当教員オフィスアワー	火曜16:10~17:10		
授業の概要及び位置づけ	この授業の前半では、諸問題を解きながら整数の性質を学ぶ。整数に関する問題は、実際に解こうとすると難しい問題が多いことに気づく。その背後にある理論を理解し、整数の世界の奥深さを感じてほしい。後半では、有理数、実数の世界まで考察する対象を広げ、それらの基本的性質を学ぶ。様々な不思議な性質に触れることで、数へのさらなる興味をもたれることを期待する。		
授業到達目標	自然数と整数について性質を理解し、証明できる。(1,3,7,11,12,13) ユークリッド互除法のしくみを理解し、具体的に問題を解けるようになる。(1,2,7) 合同式の計算ができるようになる。(3,7) 分数、小数、無理数について性質を理解し、証明できる。(3,9,11,12,13) 連分数展開ができるようになる。(7)		
授業方法 (学習指導法)	講義と演習を並行して行う。演習は前に出て問題を解いてもらう。		
	16回 定期試験		
	回	内容	
	1	記号について・集合	
	2	自然数と整数	
	3	素数と素因数分解	
	4	素因数分解	
	5	合同式	
	6	孫子の剰余定理	

授業内容	7	分数
	8	小数
	9	無理数
	10	実数
	11	連分数展開
	12	指数
	13	対数
	14	まとめ1
	15	まとめ2
	16	定期試験
キーワード	整数、素数、分数、小数、無理数、連分数展開	
教科書・教材・参考書	教科書は指定しない。毎回の講義ノートをしっかりつくること。 参考書として高校数学の教科書があるとよい。	
成績評価の方法・基準等	期末試験60点＋平常点40点＝合計100点。 60点以上が合格。 平常点は随時行う小テスト、レポート、授業への貢献などをもとに評価する。	
受講要件（履修条件）	授業外学習に当てべき時間:週平均2時間以上	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	各自の講義ノートをよく復習すること。 授業で扱った内容に対応した練習問題を各自で探し、解いてみること。	



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	火4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587040501	科目番号	05870405
授業科目名	●現代の教養II(音楽)		
編集担当教員	宮下 茂		
授業担当教員名(科目責任者)	宮下 茂		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	宮下 茂		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教]音1番		
対象学生（クラス等）			
担当教員Eメールアドレス	miyamo@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部 音楽棟2F 204		
担当教員TEL	819-2345		
担当教員オフィスアワー	水曜日12:30~13:30他（詳しくは研究室前掲示参照）		
授業の概要及び位置づけ	モジュールIで修得した芸術の理解・表現方法に加え、音楽分野に関心のある学生に対し、声楽曲の鑑賞と実技により、深い知識や研究態度を身につけることを目的とする。		
授業到達目標	モジュールIで身につけた、芸術の理解・表現を深めること。		
授業方法（学習指導法）	声楽曲及びオペラ作品に関する講義と鑑賞、声楽実技に関する講義と実技（歌唱）を行う。声楽実技では、独唱を行うこともある。		
授業内容	回	内容	
	1	季節の歌～春I＋歌唱法入門1（発声の理論と実践）	
	2	季節の歌～春II＋歌唱法入門2（発声の理論と実践）	
	3	歌曲の歴史I～導入～日本の歌曲（西洋音楽）の歴史①＋歌唱法入門3（発声の理論と実践）	
	4	歌曲の歴史II～日本の歌曲（西洋音楽）の歴史②＋歌唱法入門4（発声の理論と実践）	
	5	詩と音楽の出会いI～ドイツ歌曲の歴史＋歌唱法入門5（発声の理論と実践）	
	6	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについてI＋歌唱法入門6（発声の理論と実践）	
	7	歌、歌曲、オペラ、声楽…声楽ジャンルについてII＋歌唱法入門7（発声の理論と実践）	
	8	詩と音楽の出会いII～ドイツ語と音楽＋歌唱法入門8（発声の理論と実践）	
	9	詩と音楽の出会いIII～詩と音楽＋歌唱法入門9（発声の理論と実践）	
	10	文学的意味と音楽的表現I～言葉と旋律について＋歌唱法入門10（発声の理論と実践）	
11	文学的意味と音楽的表現II～音楽的手法の意味について①＋歌唱法入門11（発声の理論		

	と実践)
	12 文学的意味と音楽的表現Ⅲ～音楽的手法の意味について②+歌唱法入門12 (発声の理論と実践)
	13 文学的意味と音楽的表現Ⅳ～音楽的手法の意味について③+歌唱法入門13 (発声の理論と実践)
	14 ロマン派～「さすらい」について+歌唱法入門14 (発声の理論と実践)
	15 音楽から見た「世界の言葉」と「学べる喜び」+歌唱法入門15 (発声の理論と実践)
	16 全授業の総括
キーワード	声楽、オペラ
教科書・教材・参考書	授業計画に沿い、資料を配布する。音楽の視聴はCD、DVD、生演奏(歌唱とピアノ伴奏)を活用する。 参考:歌唱芸術(白水社)、ドイツ歌曲の歴史(音楽之友社)、3日でわかるクラシック音楽(ダイヤモンド社)、もう一度学びたいオペラ(西東社)
成績評価の方法・基準等	毎回提出の授業レポートの評価(90%)、歌唱(独唱)の実技への取り組み(10%)
受講要件(履修条件)	教室の座席定員(音楽棟1番教室)が36名のため、最大受講者数を36名とする。定員を超えた場合は、Nu-Webでの電子抽選を使用し、教養教育掲示板に結果を公表する。(指導教員への直談判無効)
備考(URL)	
学生へのメッセージ	歌唱芸術への興味と関心が持てること、自分にとっての未知なる音楽を受け入れる柔らかかな心を持って受講することを希望します。



タイトル「**2014年度シラバス（教養教育科目）**」、開講所属「**教養教育-教養教育 全学モジュールII科目**」
シラバスの詳細は以下となります。



学期	前期	曜日・校時	月4
開講期間			
必修選択	選択	単位数	2.0
時間割コード	20140587040901	科目番号	05870409
授業科目名	●現代の教養II(美術)		
編集担当教員	佐藤 敬助		
授業担当教員名(科目責任者)	佐藤 敬助		
授業担当教員名(オムニバス科目等)	佐藤 敬助		
科目分類	全学モジュールII科目		
対象年次	1年, 2年, 3年, 4年	講義形態	講義科目
教室	[教養A棟]A-43		
対象学生(クラス等)	全学部・留学生35名限定		
担当教員Eメールアドレス	keisuke@nagasaki-u.ac.jp		
担当教員研究室	教育学部美術技術棟1F 119番教室		
担当教員TEL	095-819-2349		
担当教員オフィスアワー	毎週午後。面談や質問等は、メールによる事前アポイントをすること。		
授業の概要及び位置づけ	立体(彫刻の世界)を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさを享受できるようにする事を目的として、小さな軟石を削ったり磨いたりしながら作品制作をしながら生活の中の豊かさを見つめてみたい。		
授業到達目標	彫刻の作品鑑賞や作品制作を通して立体的な感性についての理解を深め、その感性を内包する自身の分析の一端をできるようにする。		
授業方法(学習指導法)	講義及び実際の作品(石を彫ったり削ったり磨いたり)制作。また、彫刻の作品鑑賞も含む。		
授業内容	概要: 日常の生活空間は3次元であるはずなのに、その生活に対する意識の大半は2次元の要因を元にして営まれているといっても過言ではないようである。そこで、この授業においては、比較的やわらかい石を彫ったり削ったりして出来上がる「EXLIBRIS(蔵書印)」の制作を通してその現実の日常空間を見つめながら、その素晴らしさを享受できるようにすることを目的としながら、生活の中の豊かさを考えてみたい。		
	回	内容	
	1	4月8日ガイダンス・授業進行予定・彫刻の見方・美術の鑑賞の仕方の一端について	
	2	長崎市の彫刻の鑑賞・彫刻というものの制作の過程	
	3	「EXLIBRIS」とは	
	4	石材を手にしながらの着想とアイデアスケッチ	
	5	EXLIBRISの制作開始	
	6	EXLIBRISの制作	
	7	EXLIBRISの制作	
	8	EXLIBRISの制作	

	9	EXLIBRISの制作
	10	EXLIBRISの制作
	11	EXLIBRISの制作
	12	EXLIBRISの版面の制作
	13	EXLIBRISの版面の制作
	14	EXLIBRISの印刷
	15	EXLIBRISの印刷と作品提出および全授業のまとめ
	16	
キーワード	彫刻(美術)の鑑賞と制作	
教科書・教材・参考書	必要に応じて資料を配布。5回目以降、制作に必要な用材と道具を必要とします。また、教材費として一人2000円程度かかる見込みですので、準備をお願いいたします。また道具として、鉄鋸、5寸釘1-2本、彫刻刀、鑿、木槌か金槌、マイナスのドライバー、紙やすり100番、180番、新聞紙一朝刊分程度、発砲スチール等クッション材として使用できるもの、軍手も準備してください。また、多少汚れてもよいように各自前掛けや机の汚れを取る台拭の準備もお願いします。	
成績評価の方法・基準等	提出作品画像45枚・レポート45枚・授業への積極的な取り組み状態10枚	
受講要件（履修条件）	履修者多数の場合は、事前あるいは最初の授業時に抽選をして受講者を決定します。その他必要な場合は、掲示連絡をします。	
備考（URL）		
学生へのメッセージ	授業の中で作業をともなうかたちとなるため、汚れを防ぐもの(エプロン等)を各自で準備してください。	

